

私が専門としているのは、20世紀のイギリス文学・文化です。特に、文学と建築の関係性について興味があります。例えば、小説に描かれる主人公の部屋や街並みにどのような意味があるのか、また20世紀の作品に描かれている建物を通して、今、私たちが学ぶべきことは何なのか、そして小説家と建築家の空間に対するアプローチの違いはあるのかなど、様々な観点から文学と建築の関係性について勉強しています。

授業では、基本的に、自ら考え、問題に取り組み、自分の考えを論理的にまとめる力を身に付けてもらえるように心がけています。そのため、英文を正確に読めるだけでなく、言葉の奥にある歴史的・文化的文脈や作家の意図を探ることができるよう、ジェンダーやセクシュアリティの問題などを含め、19世紀後半から20世紀の政治的・社会的状況などに触れたりします。また、学生時代にイギリスに留学していたこともあり、イギリスでの実体験をお話することもあります。

一緒に学び、考え、成長できたらと思っていますので、留学に興味がある方、イギリスに興味がある方、何となく話してみたい方など、どなたでも気軽にお声がけください！